

Aさんのつながりを 広める取り組み

～「誰もいや！」→「この人だけ」から
「あの人とも」への道のり～

2014.07.25 大阪府立和泉支援学校 福井喜章

お伝えしたいこと

- Aさんのこと
- 活動のねらい
- 活動内容
- 今後への見通し

A さんのこと

Aさんについて

- 中学部 2年生女子
- 自閉症も伴う軽度の知的障がい
- 名前の呼ばれ方にこだわりがある
- **場面緘黙**

場面緘黙

- 小学校低学年時代はおしゃべりをしていた
- 学年が進む中で場面緘黙の状態が重くなっていた
- 小学校高学年の時には、学校では誰とも話さない状態になり、不登校ぎみに
- 中学から支援学校へ

「誰もいや!!」の時代

- 中学部入学当初「学校行きたくない」
- 声がけにもなかなか反応しない。休みがち
- 唯一好んで行ったのが「絵を描く」という活動
- 1人で黙々と絵を描いているAさんに、声をかけ続けた。

美術の時間
で描いた自
分の顔

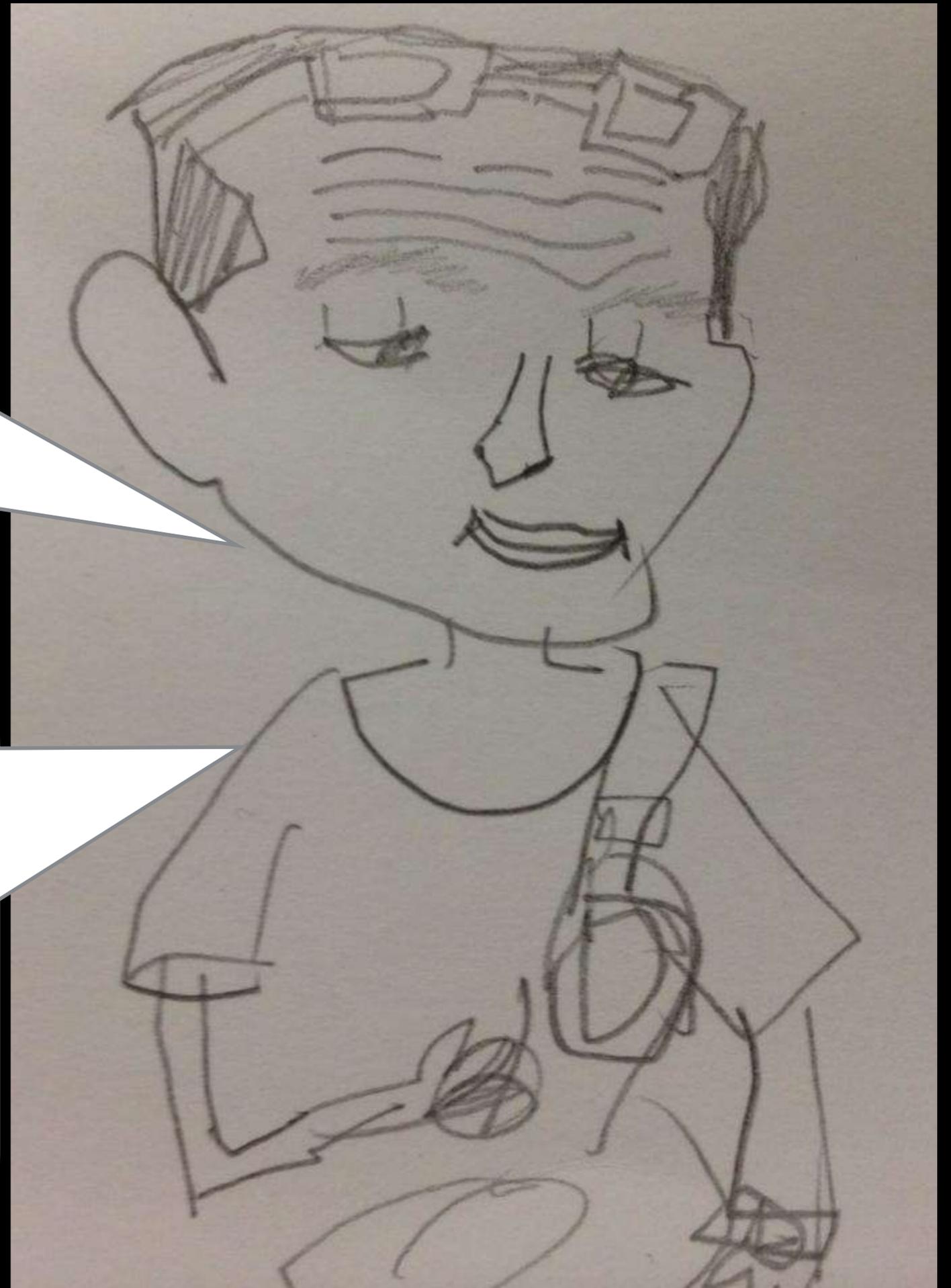


うまいなあ!
すごい勢いや!
細かいところま
で丁寧やなあ

- 反応が返らなくても、声をかけ続け、Aさんの描く絵をほめた。
- 少しずつ、福井の声がけにだけ反応を返すようになっていった。
- 一緒にお絵描きをしたり、福井のギャグに声を殺して笑ったり。
- 誰もいない所で小さな声で話すことも。

この時期、A
さんが描い
てくれた福
井の似顔絵

「似てる!!」と大喜び
する姿を見て、満足
そうににこにこして
いた
その後、何枚も描い
てくれた



福井は少しずつ関係ができてきた

- しかし、「この人とだけ」という線引きを強く感じる場面も多かった。
- 他の先生達からの声がけには、依然として下を向いて無反応なことが多かった。

母親からのメール

- 新学期の担任発表があった日のメール
- 今年も福井が関わることを親子で喜んでくれた

が、「明日、学校へ行くのん、楽しみ...」と言っていたので、びっくりしています。！！
昨日の学校へ行くのを嫌がり、しくしく泣いていた事が、嘘みたいです。😊

楽しく、学校へ行って、くれると、私も嬉しいです。😊

「この人となら」という思い

- 自分の発信(お絵描き)を受け止め続けてくれた。
- 自分の発信で伝わるものがあった
- 反応を返せなくてもずっと声をかけ続けてくれた。



- もっと関わりたい、伝えたい
- 自分を大事にしてくれる、大切な人



Aさんのこの思いを広げていきたい

ねらい

ねらい

- 発信を受け止めてもらえる機会を重ねることで、「伝える」ことへの意欲を支えていく。
- 発信の方法を増やすことで、「伝える」場を多様にしていく。
- 信頼できる対象を増やすことで、Aさんの世界を広げていく。

活動内容

活動内容

- メッセージ機能を使ったやりとり
→信頼している人と一対一での関係を支えていく
- 絵カードを活用した活動
→カードの選択で負荷の少ない発信を支えていく
- カメラ機能を使った宿泊学習での記録活動
→伝えたいことを共有する手段を増やしていく
- パラパラ漫画アニメーターを使ったやりとり
→遊びの中から生まれた新しいやり取りの形

メッセージを使って



- 自分の気持ちを伝える
- 相手の状況を思いやる
- ちょっとしたことでも「伝えたい」という思いへ



最初は文字数が少なかった

ふくみん学校来てや



Re:

しゅじゅつ怖かった



4月に送信された
メール

やりとりを継続する中で、福井を
思いやる気持ちを、具体的に長文
で表すようになってきた



Re:

姫路市の太陽公園
に、行って来たよ
~ (^▽^) ふくみ
んのおみあげ買っ
たよ。

Re:

ふくみん、今日病院
行って来たんだいじ
ょうぶ😓ふくみん
いなくってさびしい
かったよ~😞

5月に送信された
メール

絵カードを活用して

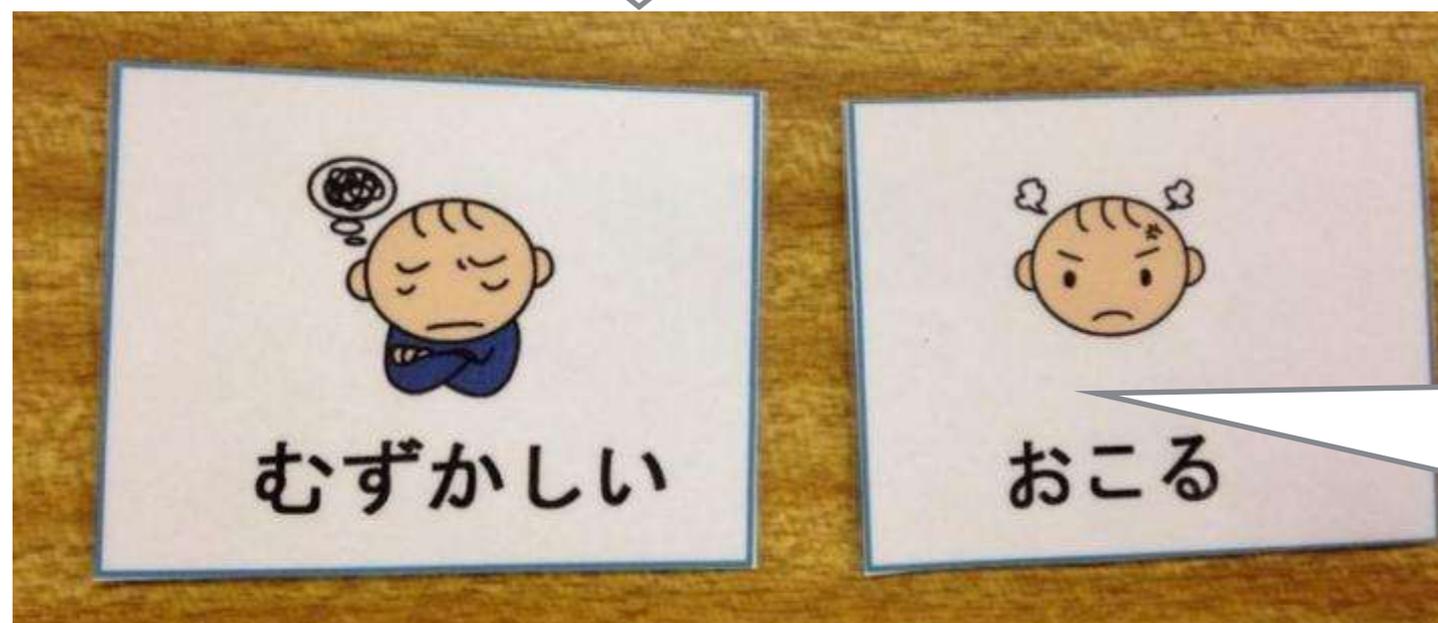
●終わりの会で使う

カードを選択して、活動のふりかえりをする。選択したものを小さい声で読むことはできる。



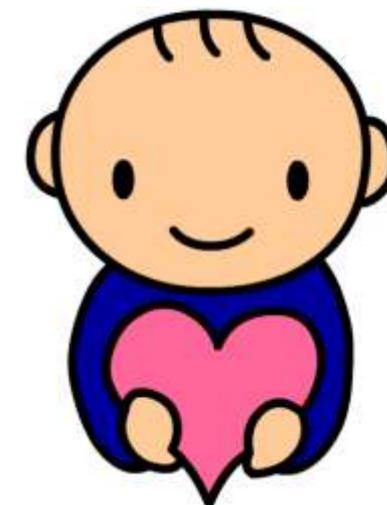
6月

- ・選びにくい日が続く
- ・福井が「選びたいカードがないの?」と聞くとうなづく
- ・ドロップの本を見せると、ほしいカードを自分で選択



Aさんが追加を希望したカード

絵カードを活用して



伝えたい思いが増える



- 用意した選択肢のカードでは、表
せない。「ここにはない」
- 複数の選択肢から、選ぶ
ことはできる。



- 絵カードからDropTalkへ(今後)

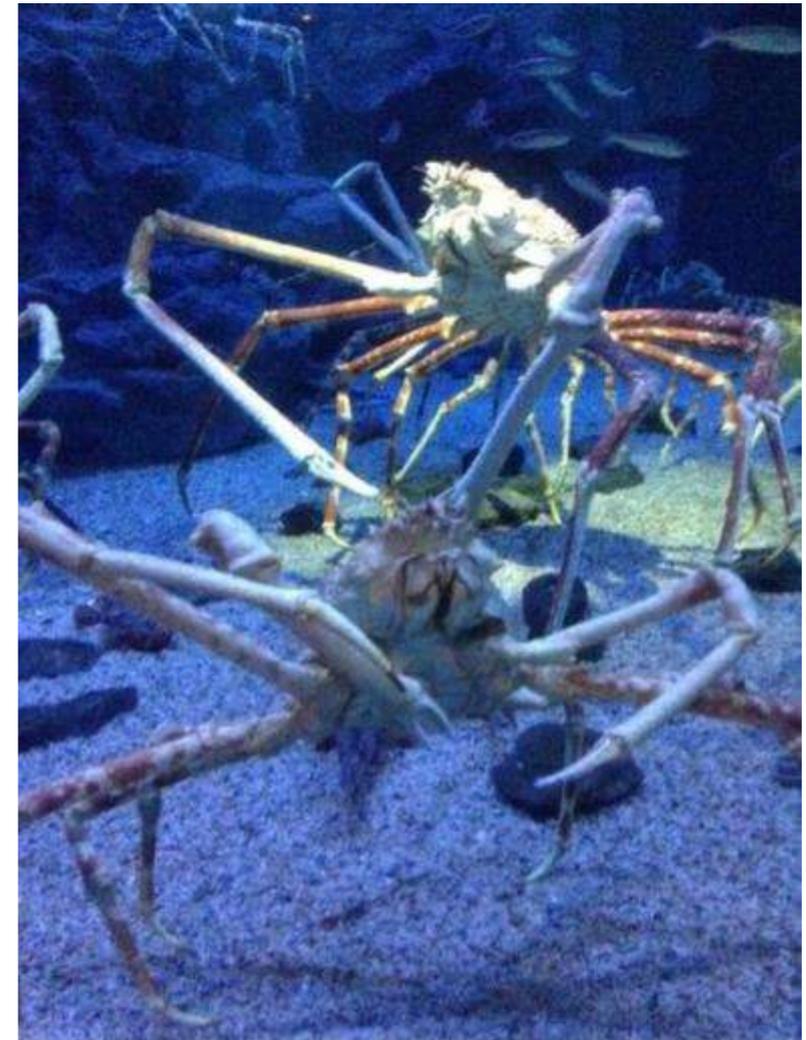
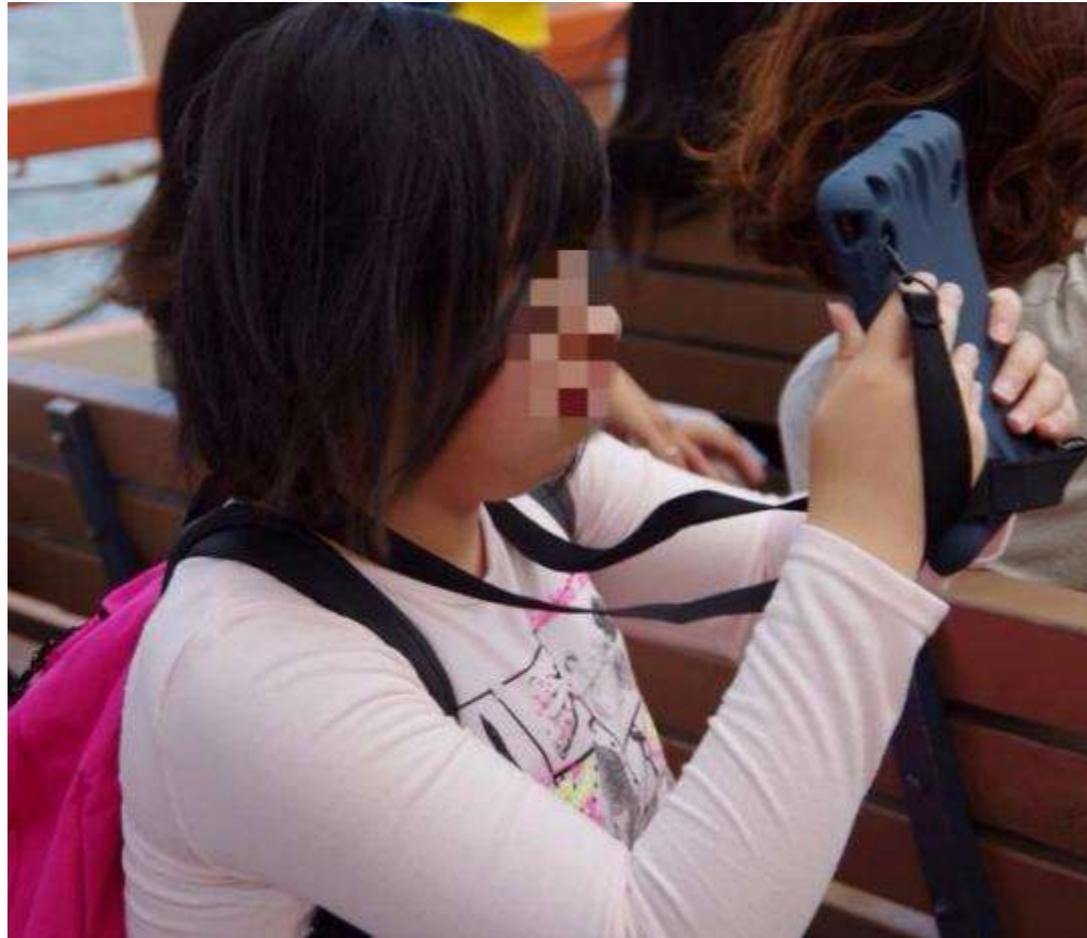
カメラ機能を使って

- カメラ機能を授業の中で体験
- 担任からメッセージに写真が添付されてくる体験

「写真を使うとよくわかる」「伝わりやすい」という見通し

校外学習で

- 生徒自らが「持っていく！」と希望
- 自分で撮った写真を担任らと鑑賞した



パラパラ漫画

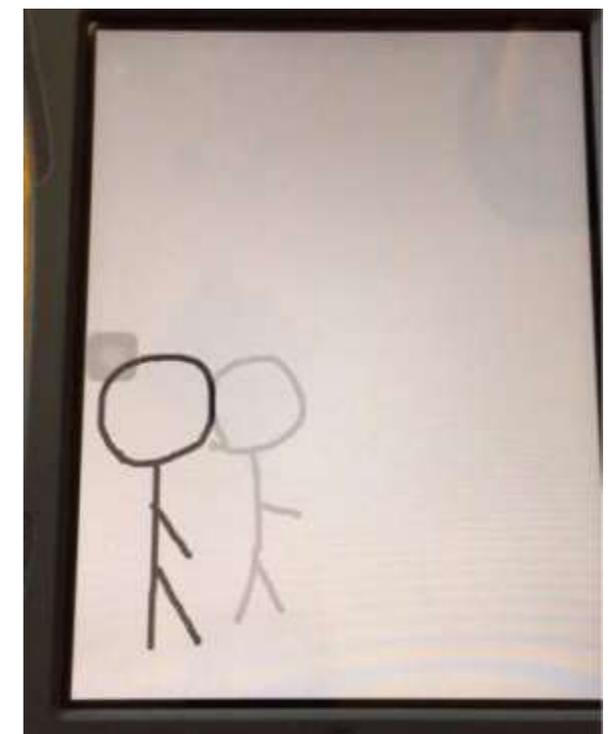


- 2年：絵が動くアニメ（動画）を作ることで、さらに思いを共有していけないかと考えて、パラパラ漫画作りをはじめた。

パラパラ漫画



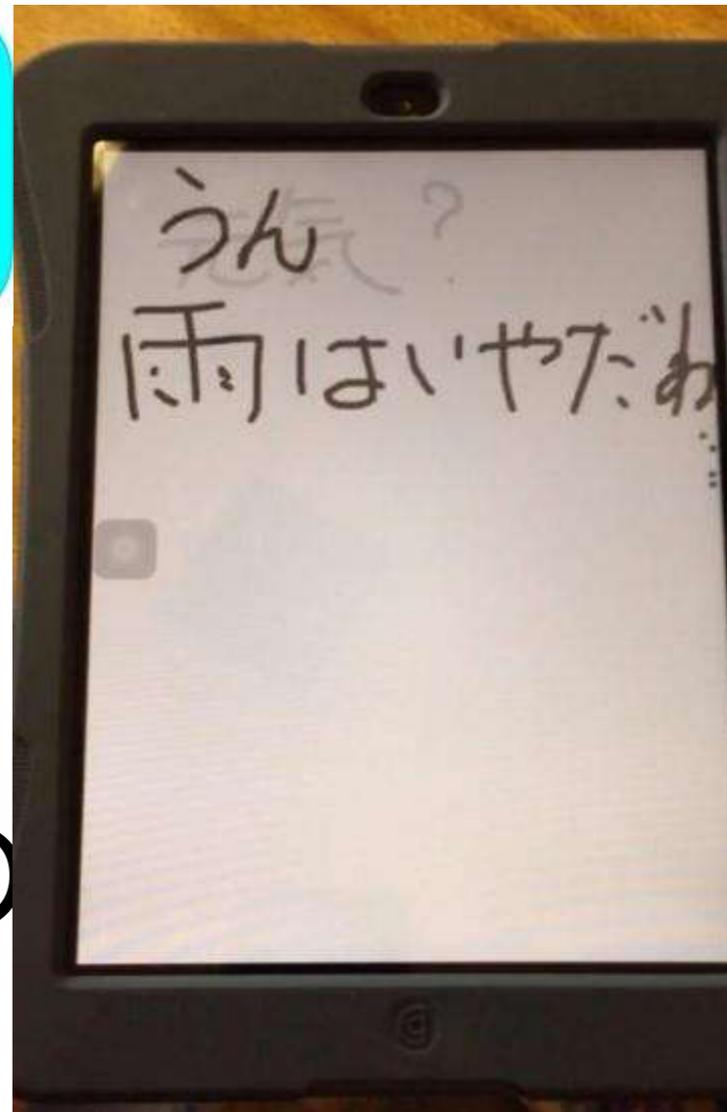
- 2年：絵が動くアニメ（動画）を作ることで、さらに思いを共有していけないかと考えて、パラパラ漫画作りをはじめた
- 福井から「こんなんでできるよ」と提示。
- 興味を持って、描きはじめる。
- 棒人間が動く様子を見て、「スゴイ」と喜ぶ。





パラパラ漫画制作の練習

パラパラ漫画

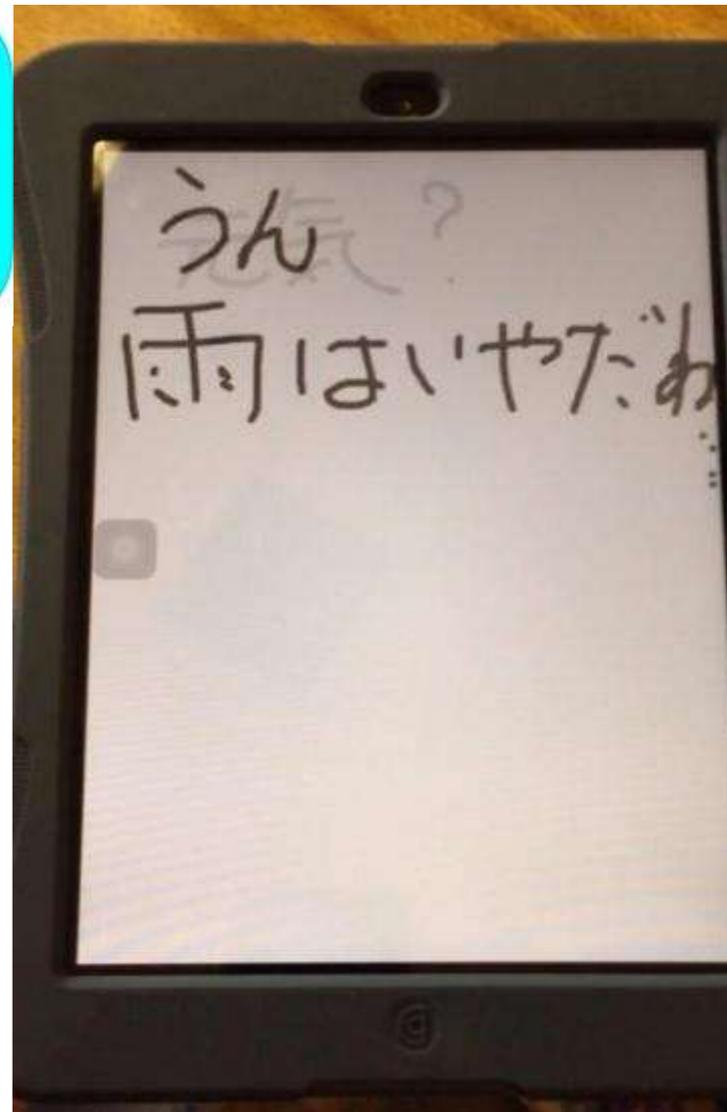


● まり先生とのやりとり

- ・ 最初は、福井とAさんのやっていることをなぞって始めた。

- ・ 見通しのある活動だったので、Aさんも比較的抵抗感を持たず参加することができた。

パラパラ漫画



● まり先生とのやりとり

- 絵だけでなく文字もいれられないかな？
- まり先生からの問いかけに「はい」「うーん」(いいえの意味)と言いながら書き込んでいった

パラパラ漫画



- 紙の筆談では答えなかったことにも答える姿が見られた。
- まり先生とのやりとりを、アニメーションを再生させて何度も見返して笑顔になる姿が見られた。

まり先生との関係に変化が出てきた。



文字でのやりとり

パラパラ漫画



- 活動を通じて、Aさんとまり先生とが急接近！
- 本人の希望で自転車に乗る練習を始めた





パラパラ漫画



- さらに、まり先生の似顔絵を描くまでの関係になる



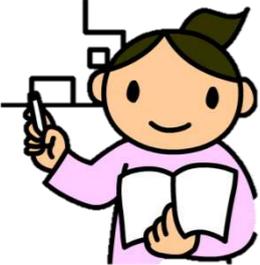
まずは、クラス担任との関係から

- 福井とのかかわりに、まり先生をまきこんでいく。
- 福井との関係づくりのプロセスをまり先生とも共有していく。



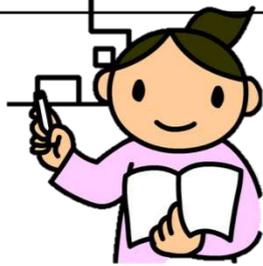
まずは、クラス担任との関係から

5月の段階

	思いを伝えてくる	話す	筆談に応じる	意志をジェスチャーで示す	書かれたものを小声で読む
	○	○	○	○	○
	×	×	×	×	○

まずは、クラス担任との関係から

7月の段階

	思いを伝えてくる	話す	筆談に応じる	意志をジェスチャーで示す	書かれたものを小声で読む
	○	○	○	○	○
	×	×	○	○	○

まり先生と「あの人も」の関係がスタートした

まずは、クラス担任との関係から

○場面緘黙のAさん

- ・自分から発信したり反応したりができにくいため、相手から帰ってくる反応も少ない。
- ・思いはある。反応できない時も受け止めている。
- ・本当は聞きたいこと、言いたいことがあるのに出せない状態。
- ・思いを共有しようとしてくれる相手に対して、少しずつ興味を持ったり気持ちを許したりしていくのではないか。

ボールが返ってこなくても、投げ続けることから

今後の取り組み

「発信の機会を増やす」にむけて

○絵を描く→「楽しんで描く」ことで終わっていたが、目的を持った活動としても活用

- 衛生を呼びかけるポスター
- 教室のみんなに紹介する絵日記

○製作活動→手先が器用。今までは作っておわりだったが、「誰かのために」「何かのために」という目的を持った活動としても活用

- 小学部の子に使ってもらうものを作ろう
- ここにこれがあるとみんなうれしいかも

「話す」以外の発信から

- 反応が返る経験を重ねる
- 「自分の発信に意味がある」ことを感じる

「発信の方法を増やす」にむけて

○絵カードからDropTalkHDへ

- ・多様なシンボルから、自分の伝えたいことを探る
- ・選択肢が増えたことで、より自分の思いが「伝わる」ことを実感できることをねらう。

○写真の活用→写真に書き込みをしたり、動画としてまとめたりすることにも取り組むことで、自分の伝えたいことを整理していく体験を積む。

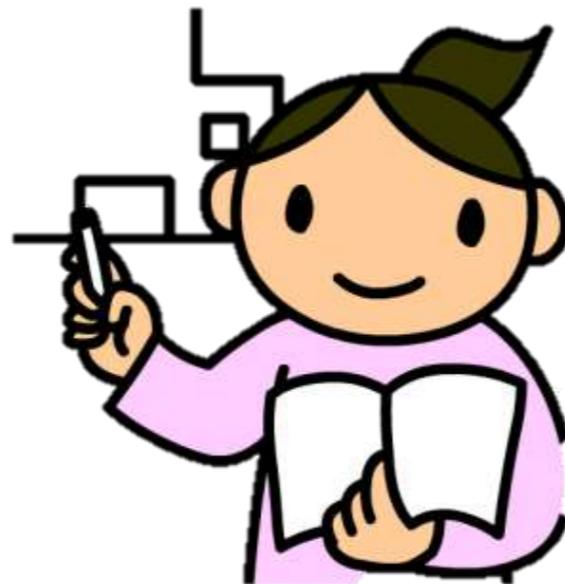
○OSNSの活用→信頼できる人とのやりとりを共有していくことで、「あのひともわかってくれる」という実感を広げていく。

**「伝わる実感」→「もっと伝えたい」へ
うまく伝わらない→「他の方法がある」と思える**

「あの人とも」を膨らませて・・・

信頼できる相手のいるSNS
のグループ

Aさん

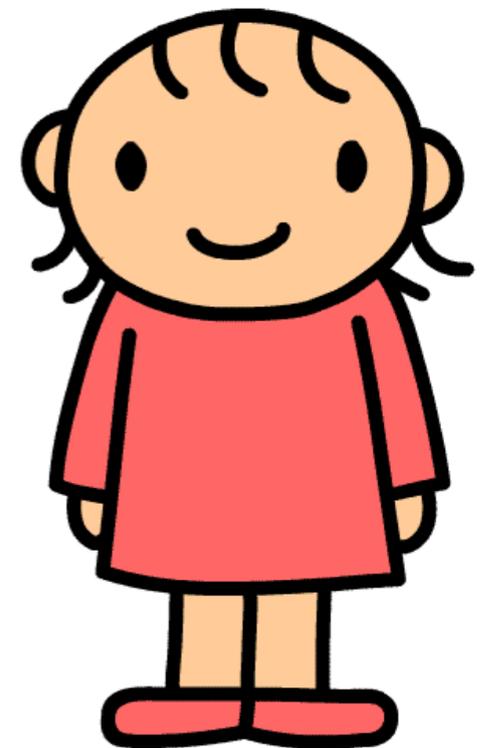


進路先の
先生

中学部の先生

Aさんが安心感を持
てている場所に参加
できる人を増やし
ていくことで関係を
広げていく

- Aさんが長い時間閉じていた
 - ・ 人への信頼
 - ・ 発信できる自分への見通しの窓を開いて、社会とのかかわりが持てるようになってほしいと願っています。



ありがとうございました

jj3vev@me.com

2014.07.25 大阪府立和泉支援学校 福井喜章